Mail Order List 2023-#1

www.tambourine-japan.com
email: song@tambourine-japan.com

(List 2023-#1 紙版使用表紙ジャケット)
FAIRPORT CONVENTION/Full House For Sale CD(England)

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
Ａ￥１９８０(税込み¥2178)　Ｂ￥２１８０(税込み¥2398)
Ｃ￥２３５０(税込み¥2585)　Ｄ￥２５８０(税込み¥2838)
（数字表示の価格は税込み価格です）

（送料）
※ご注文枚数に関係なく《一律１８５円》郵送
ただしＬＰを含む場合は一律５００円。
※代金引換送料（郵送）：590 円何枚でも）
ＬＰを含む場合は＋２５０円。

注文方法サイト：　http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm

【ご注文はできるだけ３/１７までにお願いします】
注文方法１の場合を除き、発送はご注文受取り後約５日以内にしたいと思っていますが、無理な場合もあります。締切日に近いご注文の場合は、２週間ほどかかる場合もあります。電話注文はお受けしておりません。
●お問合せはメールにてお願いします。
●ご注文の際、プライス又はプライス･コードをお書き願います。
●発売年が 10 年以上前の商品は検品をしてお届けします。

（どれもが「特選盤」クラス）
*長い冬ごもりでした。年が明けて一月半ばからぼちぼち仕入れ業務を始めたら、英国の郵便局がサイバー攻撃を受けたとかで出荷ストップ。復旧したのが一月末。復旧したことを知らなかった人もいたりして（リチャード･トンプソンが再加入したフェアポートの新譜が中々届かないので、フェアポートのオフィスに尋ねたら、復旧したことを知らなくて、発送されたのは２月２１日）、今年最初の通販リストの発行が予定よりやや遅れてしまいました。
*今回も「生活の快適さ」を維持するために仕入れを厳選しました。どれもが「特選盤」クラスです。欧州盤にシュリンクラップで包装されいないＣＤが時々ありますが、今回スコットランドから届いた新譜ＣＤはどれもラップなしでした。
*今回暇つぶしに旧在庫品を楽しみながら聴き直して新たにコメントしました。値段も安くしています。

*お知らせにも書いたようにファックスでの受注を再開しました。
数えて見ると毎回ファックスで注文されていた方が思ってた以上
に多数おられていたのと、電話機が交換時期だったので、電話とフ
ァックスが共用できる電話機に交換しました。

（分割払い）
*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請
求額の半額になります。残り半額は４月 31 日まででＯＫです。

Guitar ,Re-issue, USA, British Folk, England, Wales, Scotland,

Ireland, Europe, その他色々(CD,LP), あとがき

（ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です）

[CD/ＧＵＩＴＡＲ]

*ALEC STONE SWEET:Tumblin' Gap ¥1500
（アイリッシュとオールド･タイム･ミュージックのギター演奏。
アイリッシュは Planxty や Kevin Burke のレパートリーや"John
Ryan's"等だが、クローハンマー･スタイルで弾くギターは強弱
が明確で古臭い音楽どころか音楽がキラキラ輝いている。全 16
トラック。2005 作。Solid Air）
*ALEC STONE SWEET:Memory & Praise ¥1500
（副題"Acoustic Guitar Solos"。オカロラン曲６曲にアイリッシ
ュ３曲とアパラチア民謡{フィドル曲}２曲など全 13 トラック曲
{16 曲}。繊細極まりないギターの音色に釘付け。2005 作。
Solid Air）

[リイシュー/Historic Recording]

（CD/ＵＳＡ）

(Firefall)

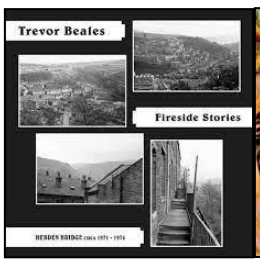
*FIREFALL:Live In America C
（Rick Roberts,Michael Clarke,Mark Andes,Jock Bartley,Larry
Burnett,David Muse から成るカントリー･ロック･バンドの
Firefall の 1979 年 11/9 デンバーでのライヴ。Rick Roberts の名
曲"Mexico"と"Colorado"そして Rick Roberts,Steve Stills,
Chris Hillman 共作の名曲"It Doesn't Matter"を含む全 14 曲。
ノッケから最後まで感動の嵐。2022 作。Renassaince）
*EAGLES:Live,Houston Texas 1976 ¥2890
（1976 年 11 月 6 日にテキサス州ヒューストンの The Summit"で開か
れた Eagles の二枚組ライヴ。音源は FM ラジオ。クレジットには全
17 曲の曲名が記載されているが実際には"Disc 1"が 7 曲、

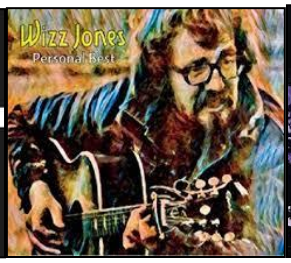
"Disc 2"が 8 曲の計 15 曲。しかも収録曲はクレジットの記載通りではない。メムバーは Glenn Frey,Don Henley,Don Felder,Randy Meisner そして Joe Walsh。Joe Walsh が参加してパワーアップした Eagles のパワー全開の白熱ライヴ。1976 年/2022 作。Timeline)

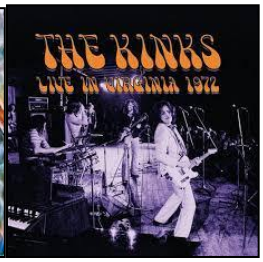
*LITTLE FEAT:Live In Boston 1975 ¥2890

(1975 年 10 月 31 日にボストンの Orpheum Thetre で開かれた Little Feat の二枚組ライヴ。イントロダクションを含めて全 24 曲。Little Feat 音源は FM ラジオ。メムバーは Lowell George,Bill Payne,Paul Barrere,Sam Clayton,Ken Gradney,Richard Hayward。Little Feat は別格。"Long Distance Love","Dixie Chicken","Willin' "{曲の途中でメムバー紹介},"Sailin' Shoes"・・・懐かしの名曲が次から次。1975 年/2022 作。Timeline)

(CD/ＢＲＩＴＡＩＮ＆ＩＲＥＬＡＮＤ他)







(Trevor Beales) (Wizz Jones) (Kinks))

*TREVOR BEALES:Fireside Stories B

(副題"Hebden Bridge Circa 1971-1974"。Bert Jansch や Davy Graham や Nick Drake と同時代、1970 年代前半頃のブリティッシュ・フォークど真ん中の音楽。1953 年生まれの Trevor Beales は、1987 年に 33 歳で生涯を閉じたという。本作は最近屋根裏部屋で見つかった宅録テープをデジタル処理を施して CD 発売した死後のデビュー・アルバム。若き Trevor は地元ヨークシャーのフォーク・クラブやパブで活動をし、一時期ロンドンに住んでいたそうだが、彼が当時流行の「フォーク」に刺激を受けて、曲作りと演奏活動をしていたことは、曲調と 70 年代英国フォーク・ギターの香りをプンプン放つギターの弾き語りを聴けば容易に想像できる。そしてどの唄も夢があって優しい。懐かしい気分と同時に心洗われもする。およそ 50 年の時を経て、日の目が見られて良かった良かった。2022 作。Basin Rock)

*WIZZ JONES:Personal Best B

(Wizz Jones が選んだパーソナル・ベスト曲 20 曲。1967 年にフォーククラブでのライヴをテープ録音したという"Corrinne What Makes You Treat Me So?"に始まり、2020 年作の John Renbourn との共演"Joint Control"収録で思い出の曲と述懐する"Balham Moon"で終わる本作は、そのまま Wizz Jones の音楽の歴史。本人の曲目解説{思い出話}を読みながらお聴き下さい。そうそう音源は記されていないが、1971 年にケンブリッジ・フォーク・フェスで会ったという John Prine{Steve Goodman も一緒}の名曲"Sam Stone"は聴き逃せませんよ。しっかり Wizz Jones 節です。2023 作。Sunbeam)

*THE KINKS:Live In Virginia 1972 B

(Kinks が二枚組"Everybody's In Show-Biz"のプロモーションで 1972 年 11 月 4 日米国のバージニア大学で行ったコンサートの

ライヴ。音源はWTJVラジオ。全17トラックの全21曲。
"Everybody's In Show-Biz"とのダブりは数えてみると９曲。
"Sunny Afternoon"、"Muswell Hillbillies"、"Celluloid Heroes"、"Lola"そして"You Really Got Me"等などストレートなロックに二流センスのロックを織り交ぜたKinks絶頂期のKinksらしいライヴ。1972年/2023作。London Calling)

*SYNANTHESIA:Synanthesia ¥1500
(Dennis Homes{ヴァイブス、ギター},Jimmy Fraser{オーボエ、フルート、サックス},Leslie Cook{ギター、ボンゴ他}の三人組"Synanthesia"の1969年作。クレジットには記載されていないが、"Produced by Sandy Roberton"らしい。リーダーでSSWのDennis Homesの夢うつつなヴォーカルといい、ギター、フルート、オーボエ、サックスによる音楽も夢うつつムードで、どことなくDonovanっぽくもある夢想的ブリティッシュ・フォーク。こういう音楽をアシッド・フォークというらしい。1999年発売。Elegy)

[CD/ＵＳＡ{Folk、Rock}系]

(Don Sampson)

(Leo Koster)

*DON MICHAEL SAMPSON:The Fall Of The Western Sun C
(1978年のデビュー作"Americansongs"から数えて10枚目になるDon Sampsonの2022年作。本作はロスとナッシュビルでライヴ録音されたもので、彼と共演した偉大なミュージシャンへのオマージュという本作は、デビュー時の"Dylan's Children"スタイルを保持。Dylan風やGuthrie Thomas風など{8曲目などはByrdsのDylan作"You Ain't Goin' Nowhere"風}かつて聴き親しんだアメリカン・フォーキーなヴォーカル・スタイルと女性バッキング・ヴォーカルを伴った土臭いルーツ・ロック、さらにキャリアから発される歌心がバッチリで、体においしすぎるほどおいしい。Ben Keithのペダル・スティール・ギターもおいしい味付けに寄与。ほっこり。w.B.Keith,Roly Salley,Don Heffington,Becky Burns,Michael Rhodes,Warren Haynes他。Appaloosa)

*LEO KOSTER BAND:Rickies Till Dawn C
(オランダを拠点に活動するカントリー・ロッカーLeo Kosterの2018年の"Leo Koster Sings Gene Clark"に次ぐ新作。LeoはRoger McGuinnのリッケンバッカーのサウンドを熱愛。本作では12弦リッケンバッカーほか多種類のヴィンテージ・ギター・サウンドをフィーチャーし、アップビートの滅茶苦茶かっこいいカントリー・ロックを体現している。加えてLeo Kosterの声は往年のカントリー・ロック向きの声だし、ヴォーカル・ハーモニーもGood!!!カントリー・ロック熱愛おっさんと彼の仲間{Matthews Southern ComfortのBJ Baartmansもメムバー}によって創作された感涙のカントリー・ロック・アルバム。ファンはみんな笑顔。ゲスト:Charlie McCoy,Lloyd Green。2022作。More!!!)

*HANS THEESSINK & BIG DADDY WILSON:Pay Day A
(オランダの南部系シンガーでギタリストの Hans Theessink の新作は、ノースカロライナ出身でドイツ在住の黒人シンガーの Big Daddy Wilson とのコラボ。Hans の円熟ボトルネック・ギターを含む各種ギターは極上だし、二人のヴォーカルはまるで長年の音楽の友でもあるかのように息がぴったし。二人のブルースを軸に育まれた絆の強さとその絆から生まれた渋くて円やかな音楽は Hans Theessink 音楽の到達点と言える味わい。2021 作。Blue Groove)
*ERIC DEVRES:Song & Dance Man A
(Eric Devres は「オランダのクリス・ヒルマン」と呼ばれているオランダ人の SSW。活動の拠点はオランダ。1990 年代に The Big Easy というバンドのフロントマンでデビューしたという。本場米国のフォーク・シーンでも中々聴くことが出来なくなった良質の SSW アルバム。"Thank you"のトップにオランダ暮らしする Iain Matthews の名。2021 作。MIG)
*THE BURRITO BROTHERS
:Back To The Sweetheart Of The Rodeo C
(二枚組。Gib Guilbeau,John Beland,James Hooker,Alan Jones,Roger,Clark,Wayne Bridgeo,Steve Nathan というラインナップの Burrito Brothers の 1990 年作。録音は 1986 年と 87 年。カントリー・ロックの旨みがナチュラルに表出された体に美味しい音楽。絶妙なハーモニー他カントリー・ロックの良いところ取り。みんな笑顔。自然劣化気味商品。Appaloosa)
*THE ORIGINAL HARMONY RIDGE CREEK DIPPERS
:Zola And The Tulip Tree ¥1500
(Mark Olson,Victoria Williams,Mike Russell のトリオの 1999 年作。Mark Olson のヴォーカルも Victoria Williams のヴォーカルもそしてカントリー・フィーリングなサウンドもゆるいゆるい。西海岸産ノホホーンなルーツ・ロックの金字塔。ゲスト:Don Heffington{ﾎﾞﾝｺﾞ他},Eric Heywood{ペダル・ｽﾃｨｰﾙ}。Creek04802)
*GREG BROWN:Freak Flag ¥1500
(G.Brown らしいブルース、カントリー、フォーク等米国ルーツミュージック混在の煮込み味 SSW アルバム。音数は少なく、骨太で野太く、いたって土臭い。この旨みある味わいは彼にしか出せない。w.Bo Ramsey,Mark Knopfler,Richard Bennett,David Mansfield,etc. 2011 作。Yep Roc)
*DAVID MUNYON:Acrylic Teepees ¥1500
(いつも夢想的で透明な D.Munyon の唄の世界。本作は彼のｱﾙﾊﾞﾑにしては珍しくバンド{Al Perkins,Dave Pomeroy,Craig Krampf}付。Al Perkins の夢心地なラップ・スティールの牧歌的田舎の音の風に乗って、David の優しい唄が心に響く。珠玉の逸品。1996 作。Glitterhouse)
*BILL WILSON:Traction In The Rain ¥1500
(Bob Dylan や Leonard Cohen のプロデューサーとして名高い Bob Johnston に見いだされて 1973 年にアルバム・デビューした SSW の Bill Wilson の 1992 年作の四枚目。ギターの弾き語りによる本作は、彼の魂を振るわす揺るぎないヴォーカルが素晴らしい。アメリカン・ルーツ志向 SSW アルバムの名盤。唄もギターも「本生」。全 17 曲。1992 作。Sweet P Production)

*ELLIOTT MURPHY･IAIN MATTHEWS:La Terre Commune　¥1500
(Elliott Murphy と Iain Matthews による 1991 年作のデュオ･アルバム。Elliott と Iain との関係は Iain が彼のデビュー作"If You Saw Thro' My Eyes"のプロモーション･ツアーで 1970 年にニューヨークを訪れたときに始まる。本作は長年の相互の賞賛から生まれた心通い合う共演で、双方の個性がバランスよく表出されていて、聴いていて心地よい。二人のヴォーカル･ハーモニーもメチャ Good!自然劣化気味商品。2001 作。Blue Rose)

*STANLEY GREENTHAL:Turning Towards You　¥1500
(木漏れ日のような温かさの感じられる優しい SSW アルバム。その繊細さは良質のブリティッシュ･フォーク的な感触。かつて覚えた新鮮な感動は今聴いても不変。名盤を再認識。その昔{1990 年代}シアトルの郊外で開かれたフォークフェスで彼のライヴを観て、少しおしゃべりした。そのフェスで Solas を初体験。1997 作。Madrona Ring)

*TOM OVANS:Still In This World　¥1500
(Iain Matthews や Carole King のプロデューサーとして知られる Mark Hallman との共同プロデュースでテキサス･オースティンで録音された SSW の Tom Ovans の 2001 年作。ディランズ･チルドレンというか、テキサス･オースティンの Butch Hancock のようなだみ声で、南部っぽくてズシッと心に響く。w.Lou Ann Bardash, Mark Andes, Mark Hallman, Robert Mcentee。)

*MARK STUART:Songs From A Corner Stage　¥1000
(Stacey Earle のご主人の Mark Stuart の 1999 年作のデビュー作。本作はのギターの弾き語りによる SSW 然とした曲調の悲喜こもごも感のあるタイプの曲と南部～ルーツ･ロック･タイプの曲が混在。彼のルーツ志向の唄の数々は心底感動的。ゲスト:Stacey Earle。Gearle)

[CD/ＣＡＮＡＤＡ]

(Kate & Anna)

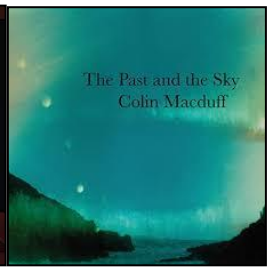
*KATE & ANNA MCGARRIGLE:Tant Le Monde　C
(副題"Live In Bremen / Germany 2005"。Kate が肉腫で亡くなる五年前の Kate & Anna 姉妹のライヴ。2003 年作の"La Vache Qui Pleure"からの５曲に Kate の元夫のラウドン･ウェインライト三世作の"The Swimming Song"やリンダ･ロンシュタット他多くのアーティストによってカバーされた"Heart Like A Wheel"ほか全 16 曲。同行メムバーは Lily Lanken{Anna の娘}, Joel Zifkin, Michel Pépin, Thom Gossage。1976 年のデビュー･アルバムで魅せられた Kate & Anna 独特な円やかで甘いヴォーカル･ハーモニーは本作においても不変。バンド･メムバーが気心の知れた音楽仲間ということもあってか、一曲一曲の音作りがホームメイドな ぬくもり感があり、Kate & Anna の唄もリラッ クスしていて、

ー 曲一曲本当にゆったりと味わえる。ラストはデビュー･アルバムに収められていたKate作の"Mendocino"。デビュー･アルバムの感動を思い出しながら、二人の肩の力を抜いたゆるいハーモニーに涙。2005録音/2022作。MIG Music)
※当時、私たちのバンドはKateと私、Joel Zifkin{ヴァイオリン}とMichel Pépin{ギター、ベース}、ドラマーのThom Gossageそして私の美しい娘のLily Lankenでした。私たちの音楽を楽しんでいただければ幸いです。聴いてくれてありがとう。(Anna McGarrigle。2022年4月)
*MARK PERRY:Vera's Cafe ¥1800
(ブリティッシュコロンビア州のスミサーズにある小さなレストランをタイトルにしたカナダのSSWのMark Perryの1996年作の三枚目。彼は今も現役のSSWとしてスミサーズを拠点に活動しているが、本作はカナダ西海岸的な爽やかな空気感のある小気味よいロック調で、若々しく健やかなMark Perryのヴォーカルが心地よい。ご機嫌！Produced by Hugh McMillan{Spirit The West}。Central Mountain)
*DEVON SPROULE:Upstate Songs ¥1000
(オンタリオ州のコミューンでヒッピーの両親に元に生まれたというSSWのDevon Sproulの2003年作の三枚目。Rolling Stone誌は「叙情的な美しさは比類のないもの」と絶賛。フランク･ザッパやカナダのシンガーに影響を受けたという。その彼女の本作はほぼ全曲彼女のギターの弾き語り{後にご主人となるプロデューサーのPaul Curreriが三曲ギター共演}で、感性豊かで無邪気な唄が新鮮。Tin Angel)
*MAE MOORE:Folklore ¥1000
(有機農業を営む環境保護主義者で画家で女性SSWのMae Mooreの2010年作。プロデュースはカナダで最も著名なプロデューサーの一人でマルチ楽器奏者のJoby Baker。Mae Mooreのダルシマー又はギターの弾き語りにジャズっぽい装い。素朴な彼女の唄がおしゃれな音楽に変身。ブックレットでは彼女の絵も鑑賞できる。Poetical License)
*FRED EAGLESMITH:Lipstick Lies Gasoline ¥1000
(13曲中9曲でWillie P.Bennettがバックグラウンド･ヴォーカルとマンドリンで共演したFred Eaglesmithの1997年の名盤。ゲスト:Richard Bell。1997作。Razor & Tie)
*JANE SIBERRY:Shushan The Palace ¥1000
(副題"Hymns Of Earth"。クリスマスをテーマにしたアルバムで主に数世紀前のヘンデル、バッハ、メンデルスゾーンの曲を含む聖歌集。2003作。Sheeba)
*VALDY&GARY FJELLGAARD:Contenders ¥1000
(共にヴェテランSSWの二人が組んだ1999年作。旅する唄や島の生活を楽しむ唄や夢をうたった唄等など愛すべき唄ばかり。Stony Plain)
*VALDY:Smorgas Bard ¥550
(カナダを代表するSSWのValdyの1984年から1997年の間の音源からの12曲収録編集CD。1997作。Rack-On-Tour)
*FRANCESCA:Au-Dela Des Couleurs ¥330
(フランス語、スペイン語、イタリア語、英語でつぶやくように、また情熱的に唄う異色の女性SSWアルバム。1999作。BMG)

［CD/UK，ＩＲＥＬＡＮＤ］

(Juni Habel)

(Ruth Angell)



(Colin Macduff)

*JUNI HABEL:Carvings B

（ノルウェーの女性 SSW のアルバムだが、「珠玉の」と誉めるに値するブリティッシュ・フォーク・タイプのアルバムなので、ここで。ほとんどの曲を祖母の家{ジャケ写の家}で録音をしたという本作は、さざなみのようなギターが特徴的なギターの伴奏による弾き語りで、心を鎮め密やかにうたう彼女の唄の世界にじわじわっと引き込まれる。バッキング・ヴォーカルを含め僅かな効果音的サウンドが施されているが、すべてが Juni の唄の世界に魔法のように同化していて、トータルに音楽の質を高める効果を果たしている。滅多にお耳にかかれない極上の 70 年代ブリティッシュ・フォーク風 SSW アルバムだ。唄は英語。本作は十代で交通事故死した妹 Kaja に捧げられている。「暗闇の中で輝く残り火のように、これらの歌は生と死、持ち物の美そして自然との人間関係への頌歌なのです」{Bandcamp より}。2023 作。Basin Rock）

*RUTH ANGELL:Hlywing B

（Ashley Hutchings との活動で知られる女性 SSW でヴァイオリン奏者の Ruth Angel のデビュー・ソロ・アルバム。全 10 曲中９曲が Ruth の自作曲で、１曲がジョニ・ミッチェルの"Magdalene Laundries"。この唄は 20 世紀のアイルランドにあった不幸な女性達を収容した施設のことをうたったものだが、中世英語で「避難所」を意味する"Hlywing"をアルバム・タイトルにした本作は、女性的な繊細さや優美さそして心の細やかさが流れるようなメロディーに乗って美しい唄となったようなフォーク/SSW アルバム。音作りも細心の音作りが成されていて、Ruth のたおやかで美しい唄を輝くものにしている。細やかな表現力は並みではない。デビュー作にして完璧。裏ジャケにはにゃんこと一緒の Ruth 嬢。2023 作。Talking Elephant）

*COLIN MACDUFF:The Past And The Sky B

（スコットランドの SSW の Colin Macduff のデビュー・アルバム。元看護師という Colin の唄は、響きの良いギターの弾き語りをベースにしていてひたすら穏やかで優しい。風貌から 50 歳から 60 歳くらいだろうか。人生の喜びや悲しさや世の不思議を唄にして子や孫にでもうたって聴かせてるようなゆったりしたテンポの優しい唄たちだ。「デビュー・アルバムは遅すぎない」と自身が言う本作は、不思議な夜景のブックレットも自作の全 12 曲も夢色に染まっていて、どの唄もお休みソングのように心地よい。ゲスト:Angus Lyon, Jenna Reid 他。2022 作。Colin Macduff）

*CRUACHAN:Tuatha Na Gael ¥1800

（アイルランドのケルティック・メタルバンドの Cruachan の 1995 年作の一枚目。男性のおどろおどろしいヴォーカルを伴ったパ

ワフルな暗黒ロックにブズーキ、アイリッシュ・フルート、ホイッスル、バウロン等の伝統楽器がメロディーを奏でる。ジャケット・デザインも滅茶苦茶ケルト。Karmageddon Media)

*CRUACHAN:The Middle Kingdom ¥1800

(女性ヴォーカルの Karen Gilligan が加入し、各種伝統楽器にイリアンパイプスも加わってアイリッシュ・トラッド色が濃くなった 2000 年作の三枚目。耽美的ケルティック・フォーク・ロック。ジャケット・デザインも滅茶苦茶ケルト。Karmageddon Media)

*THE RISING SOULS:Yardbird B

(Dave Archbald{ヴォーカル、ギター},Roy Laing{ベース},Tom Reed{パーカッション}の男性三人組ロック・バンド Rising Souls の 2016 年作。Dave Archbald のヴォーカルの味わいは、まるで Frankie Miller。バンドのロックも最小限にルーツロック志向なのが良い。ヴォーカルの味わいが損なわれることなく、魂の入ったヴォーカルの味わいが、そのままにじみ出ている。The Rising Souls)

*NAOMI BEDFORD:Tales From The Weeping Willow ¥1500

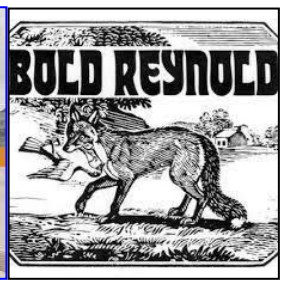
(Naomi はまるで英国の Emmylou Harris。今の Emmylou ではなく、70 年代の。Naomi の声の響きは白人系アメリカン・ルーツ音楽の故郷のような響きなのだが、土臭さよりはむしろ優美さや夢見心地感が感じられるもの。鮮やかなアコースティック・ギターの伴奏を中心にしたサウンドも新鮮。2011 作。Dusty Willow)

*HUW AND TONY WILLIAMS:Live ¥1000

(フォーククラブを中心に活動し、1980 年代から 90 年代に一世を風靡した Huw & Tony{兄弟ではないが、兄弟のように息の合ったハーモニー！}の 1997 年リリースの 19 曲入ライヴ。心が和み、心穏やかにそして笑顔にする人のぬくもりのあるブリティッシュ・フォーク。Ralph McTell や Simon Nicol も大ファンというのは有名。R.McTell がメチャ好きだという"I Can Jump Puddles"や"Rosemary's Sister"や"We Stayed Awake"などもほのぼのとデュエットしてます。気分ほっこり。T.C.S.Productions)

[CD/FAIRPORT&FRIENDS]

(Fairport)



(David Carroll)

*FAIRPORT CONVENTION:Full House For Sale CD ¥2685

(３月８日頃入荷予定。2022 年の Cropredy Festival のハイライトで、コロナで二年遅れで行われた"Full House"{1970 年作}の 50 周年記念ライヴのライヴ CD。メムバーは Richard Thompson, Simon Nicol,Dave Mattacks,Dave Pegg{以上オリジナル・メムバー}そして亡き Dave Swarbrick に代わって Chris Leslie。曲目はオリジナル LP 収録曲全曲＋"Poor Will And The Hangman"{Full House 限定盤収録曲}＋ボーナス・トラック"Jenny's Chickens"/"Mason's Apron"。2023 作。Matty Groves)

※入荷遅れも無きにしも非ず。入荷してからの発送になります。
*DAVID CARROLL AND FRIENDS:Bold Reynold　B
（全く馴染みのなかったDavid Carrollなる人物のデビュー作。Fairportと Gryphonのメムバーに電話をして始まったという本作は、夢のような70年代のブリティッシュ･フォーク＆ロックの逸品。アルバムに参加したミュージシャンはFairportからChris LeslieとDave Peggの二人にGryphonからBrian Gulland, Dave Oberle,Graeme Taylorの三人。加えてMen They Couldn't HangのTom Spencerに女性シンガーのLucy Cooper。本作はDavid Carrollの夢の企画の勝利。おそらく夢に描いた通りの音楽が創れたのではないだろうか。彼自身ブズーキ、アパラチアン･ダルシマー、イリアンパイプス等のマルチ楽器奏者でもあるのだが、フェアポートのフォーク･ロックとグリフォンの中世ルネサンス･サウンド寄りのフォーク･ロックを織り交ぜたフォーク･ロックと馴染みのトラッド曲の数々は鳥肌が立つほどワクワクさせられる。シンガーとして決して上手いとは言えないが、気概ある堂々たるヴォーカルは気骨あるフォーク･ロックと一体化して滅茶苦茶カッコイイ。2023作。Talking Elephant）
*FAIRPORT CONVENTION:Angel Delight（1971作。Island）　¥550
*FAIRPORT CONVENTION:Nine（1973作。Island）　¥550
*SANDERS,BAKER AND CLAYTON:Carried Away　¥330
（売り尽くしセール！Vikki Clayton,Ric Sanders,Fred T.Bakerのトリオによる1995年作。Sandy Dennyの代役的シンガーとしてFairportなどで活動していたVikki Claytonをヴォーカルをフィーチャーしたジャズ的なセンスが新鮮なブリティッシュ･フォーク。Dylanの"She Belongs To Me"やRalph McTellの"The Hiring Fair"や"Fairportの代表曲の"Crazy Man Michael"等など新たな命を吹き込んでいる。今聴いても新鮮。全11曲。Sparking Volumes）

［CD/ＥＮＧＬＡＮＤ］

（E.Portman & R.Harbron）
*EMILY PORTMAN & ROB HARBRON:Time Was Away　C
（女性トラッド･シンガーのEmily PortmanとLeveretのメムバーでコンサーティーナ名手{本作ではギター、マンドリン、ハーモニウムの優れた演奏家であることも証明}のRob Harbronのコラボは、イングランドの女性トラッド･シンギング･アルバムとして久々のクリーン･ヒット作。10曲中８曲はラウド･フォーク･ソング･インデックス収録のトラッド曲で音源についてはブックレットに記載。Robの各種楽器の伴奏は至ってシンプルで唄に寄り添うように優しく、Emilyのシンギングは英国トラッド･シンギングの正統的シンギングを受け継いでいて、凛とした気品の

中にほのかな甘みがあって、抜群に美味。本作の完成度の高さは名プロデューサーの Andy Bell の手腕によるところが多いだろうが、それにしてもこれほど美しく心のこもったトラッド･アルバムはあまりお耳にかかったことがない。ちなみに Folk Radio は「フォークの伝統に対する知識と優しいアプローチにより、エレガントで控えめな壊れやすい宝石を提供」と評し、「損失、苦難、飢餓。残虐行為に直面したときの回復力と抵抗が本作のテーマで、17 世紀から 20 世紀までの歌と物語を用いて、歴史は繰り返されるという古い格言を例証」と解説。2022 作。Emily Portman & Rob Harbron)

*LEVERET:Inventions ¥1500

(Andy Cutting{ｱｺ､ﾒﾛｰﾃﾞｨｵﾝ}､Rob Harbron{ｺﾝｻｰ ﾃｨｰﾅ}そして Tom Sweeney{ｳﾞｧｲｵﾘﾝ､ｳﾞｨｵﾗ}の Leveret の 2017 年作。本作はスタジ･ライヴで、イングランド的な気品とロマンティックさが音楽の根っこに感じられる気持ちの良い音楽。それは Andy Cutting が 1990 年代初めに Chris Wood と組んで創作した音楽のような心の深いところで感動する音楽。2017 作。Rootbeat)

*ROBIN GARSIDE:The Ragman's Trumpet B

(棚を見ていたら、記憶にない CD。トランペットの音楽かなと視聴してみたら、予想外。Robin Garside はシンガーでマルチ･アコースティック楽器奏者。彼のシンギングは Dave Burland 風で、ふくよかなイングランドのトラッド。ネットで調べたら、Sheffield Traditional Fiddlers Society を約 30 年率いたとのこと。発売年不明。GETCD2)

*BOB PEGG:The Last Wolf ¥1500

(元 Mr.Fox で元妻の Carole Pegg や Nick Strutt との共演盤が素晴らしい Bob Pegg の 1996 年作のソロ二枚目。本作は前作から 20 年の間の成果を厳選してまとめたアルバムで、曲のテーマは様々だが Bob Pegg の不思議な物語の世界へ誘うのに適したヴォーカルは最高潮で、見事に Bob Pegg 流ブリティッシュ･フォークの世界を創作している。二曲目「農夫の若妻の哀歌」での Chris Coe のシンギングも聴きもの。名盤。Rhiannon)

［CD/ＷＡＬＥＳ］

(Pedair)

*PEDAIR:Mae'na Olau B

(共にトラッド･シンガーでハープ奏者の Sian James と Gwenan Gibbard の二人に、ウェールズ語の詩人でミュージシャンの Gwyneth Glyn とフォーク･シンガーの Meinir Gwilym のウェールズを代表する女性アーティストの四人組"Pedair"のデビュー･アルバム。主にウェールズのハープに特徴的なキラキラしたハープの伴奏で四人の歌姫によってうたわれるウェールズ語の唄

は四色の毛糸で編まれたマフラーのよう。ソフトな響きのウェールズ語だが、その響きに色彩感と美しさ温かさが備わった感じだ。ハーモニーの組合わせも独創性があって多彩で、ヴォーカル･ハーモニーの鮮度が高い。ソロでの魅力は言うまでもない。収録曲はロックダウン中にホームレコーディングした５曲とSain のスタジオ録音曲の８曲の計 13 曲。2022 作。Sain)

※「圧倒的なハーモニー、ウェールズの民俗伝統の新鮮な解釈、曲作りの親しみやすさは、予期せずに多くの人々にとって慰めと希望の源になった。(Sain Records の HP より)

*GWENAN GIBBARD:Y Gorwel Porffor A

(CD-R。ウェールズ語を話す家庭で育ったという全曲ウエールズ語による Gwenan Gibbard の本作はハープの弾き語りによる６曲収録 CD。６曲中３曲が伝統曲だが、彼女のハープの弾き語りは、伝統音楽一途というよりは、伝統音楽が子守歌のように身近な音楽として身についていて、ウエールズ語の優しい響きのシンギングもハープの音色の真に優しい。春の花園で夢見気分。2015 作。Sain/音質確認済)

※今回聴いて CD-R 盤と知りました。Sain の製品に CD-R があったとは!

*LINDA GRIFFITH:Storm Nos ¥1000

(ウェールズの伝統音楽が盛んな地域で育ったトラッド･シンガーの Linda Griffith の 2009 年作。トラッド曲と自作曲の混成ではウェールズ語の唄はオーセンティックなトラッドからフォーク調と幅が広いが、娘二人のヴォーカル･ハーモニーを伴って、全体としてほんのり穏やかムード。演奏に Fairport の Martin Allcock{プロデューサーでもある}と Chris Leslie が参加。ゲスト:Gwenan Gibbard。Sain)

［CD/ＳＣＯＴＬＡＮＤ系］

デジパック･タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。

(R.Walker & A.Jones)

(Anna Tam)

*RACHEL WALKER & AARON JONES:Between The Wind And Rain C

(スコットランド屈指のゲール語のトラッド･シンガーの Rachel Walker と Old Blind Dogs のメムバーでシンガー＆ギター、シターン奏者の Aaron Jones のデュオ･アルバム。本作はスコットランドの歴史上の女性達の感動的な物語に光りを当てることを目的に制作されたアルバムで、曲は二人それぞれの作で、Rachel のゲール語の曲は詩人の Marcas Mac an Tuairneir との共作。高潔で美しく凛とした Rachel のシンギングとややハイトーンの柔和で清々しいフォーク調の Aaron ヴォーカルが織り上げる音楽は、隅々まで歌心が行き渡ったハイセンスでハイレベルのスコティッシュ･フォーク＆トラッド。Rachel のシンギングの美しさは言

葉では言い表せないほどだが、二人のソロ・ヴォーカルのみならず、心を寄せ合うデュエットの美しさも胸キュンの美しさ。静かな感動の嵐。w.Duncan Lyall,Patsy Reid,Katrina Lee ほか。ブックレットには曲に登場する女性を表現したという Ali Berardelli のイラストが 10 点掲載されている。2022 作。Ros Dearg)

*RACHEL WALKER:Fon Reul～Sholus(2006 作。Skipinnish) C

*ANNA TAM:Hatching Hares B

(マルチ楽器奏者の Anna Tam の 2022 年作の二枚目。本作はトラッド・シンギング・アルバムとしてとても魅力的。彼女のシンギングはか細くて何となく不安定。しかしある意味その素人っぽさがトラッドな物語の不思議さと妙にマッチしていて、ファンタジックなフォーク的な不思議な魅力を醸し出している。そしてまた彼女は一曲一曲、チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、ハーディガーディ、ニッケルハルパ、ピアノなどの楽器を独自の感性で効果的に伴奏楽器として使っていて、彼女独自の魅惑のトラッド・アルバムを創作している。また曲ごとに楽器を持ち替えることにより、曲の個性が明確化し、アルバムとして深みを増している印象だ。夢の世界を旅する気分。アルバム・タイトルは「うさぎのふ化」。トラッドにはナンセンスな唄もありますよね。TAM)

*CRM:CRM ¥1800

(Alex Campbell・Alan Roberts・Dougie Maclean のトリオによる 1979 年作。Produced by Nigel Pegrum。全曲トラッド曲。スコティッシュ魂を鼓舞する Alex Campbell の熟練シンギングとスコティッシュ抒情を放つ Dougie Maclean の爽やかシンギングの妙が面白い。Alex が Dougie と Alan に「これからはお前達の時代」とバトンタッチしたかどうかわからないが、そんな印象を持つアルバム。この時代から Dougie Maclean はまさに Dougie Maclean。2004 作。Osmosys)

*RURA:Breaking It Up ¥1500

(2011 年の"Scots Trad Music Awards"で「新進気鋭アーティスト賞」受賞の男性五人組トラッド・バンド"Rura"のデビュー作。メムバーの David Foley はバウロン部門のオール・アイルランド・チャンピオン。若造達の突っ走る演奏と思いきやスコティッシュとアイリッシュを余裕綽々の演奏とシンギングで舌鼓を打たせる。デビュー作にしてヴェテランの風格。2012 作。Greentrax)

*DONNIE MURDO MacLEOD:Sgnab Is Dloth ¥1500

(ルイス島出身のトラッド・シンガーの Donnie Murdo MacLeod の 2000 年作。彼はシャンノース又は伝統的歌唱で National Mòd 金賞受賞し、本作は"Gaelic Album of the Year"に選出。スコットランド・ゲール語の品性のある柔らかなシンギングと共にスコットランドの伝承歌の世界に誘われる。味わい深さは並ではない。名盤。アイルランドのシャンノース・ファンも是非。w.Mary Ann Kennedy{ﾋﾟｱﾉ､ｸﾗﾙｻｯﾊ},Arthur Cormack{ｳﾞｫｰｶﾙ},Allan MacDonald{ｳﾞｫｰｶﾙ}。2000 作。Macmeanmna)

*BILLY CONNOLLY'S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND ¥1000

(スコットランドのミュージシャン{両親がアイルランド移民}でタレントの Billy Connolly{ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ､ｵｰﾄﾊｰﾌﾟ他}とスコットランド屈指のフィドラーの John McCusker がタッグを組んで完成

したスコティッシュ＆アイリッシュをベースにした円やかで
ほっこり感のあるケルティック･ミュージック。共演は John McCusker の元夫人の Kate Rusby に Eddi Reader, Andy Cutting, Michael McGoldrick, John Doyle, Phil Cunningham, Kris Drever, Ian Carr 他。Produced by John McCusker。2004 作。Park)

*CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD:The Cauld Wind ¥1000
(Chris & Finlay は伝統性に重きを置きつつ、創出された音楽は音楽のすべてのレベルが高く、革新的で典雅で高潔。フィドルとバグパイプの組み合わせによる現在もなおトラッド･シーン最前線のスコティッシュ･ミュージック。2013 作。
Chris Stout Music)

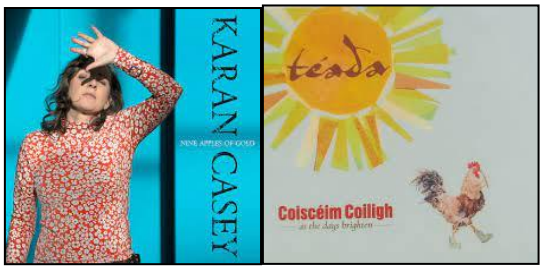
*RUNRIG:In Search Of Angels ¥1000
(最高のスコティッシュ･フォーク･ロック。1999 作。Sony Music)

*RUNRIG:The Essential Runrig ¥550
(1979 年から 1996 年までの音源からの 16 曲収録コンピレション。2007 作。Capitol)

*MAIRI SINE CHAIMBEUL:Thall An Loch Aillse ¥550
(Mod の優勝者でスコットランドのゲール語の女性トラッド･シンガーの Mairi Sine Chaimbeul の 2007 年作。w. Mary Ann Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan。2007 作。Macmeanmna)

[CD/ＩＲＥＬＡＮＤ系]

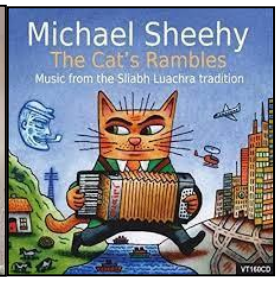
デジパック･タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。



(Karan Casey) (Teada)

*KARAN CASEY:Nine Apples Of Gold B
(アイルランドの伝統音楽やフォーク･ミュージックの制作、演奏、宣伝、発展において、女性音楽家のジェンダー･バランスを達成することを目指す団体 FairPléの支援活動をしている Karan Casey の新作。どの曲も母として女性としての立場や視点から創作された自作曲で、Karan Casey のアルバムの中ではアイリッシュの型をベースにしながらも型を超えて最も音楽性が豊かで生き生きしている。"I Live In A Country"というメッセージ性が強い曲では、Karan と Pauline Scanlon によるコール＆レスポンス{掛け合い}が挿入されている上に Karen のシンギングもかつてなくテンションを上げているし、続く"Daughter Dear"は母と娘の間の優しい心の曲で、女性トラッド･シンガーの Rioghnach Connolly と羽毛のようにソフトなソロ＆ハーモニー･ヴォーカルで聴き手の心をほぐす。今の Karan は大空を自由に羽ばたく鳥のよう。本作の制作と演奏活動で全面協力する Niamh Dunne が半数の曲でソロ＆ハーモニー･ヴォーカルを務めている。優しさを含めて女性パワーは凄い！

Produced by Seán Óg Graham。2023 作。Crow Valley Music)
*TEADA:Coisceim Coiligh B
(2022 年の 5 月に発売されていた Teada の結成 21 周年を祝う新作。そのお祝い記念に招かれたのはヴェテラン・シンガーでアコーディオン奏者の Séamus Begley{4 曲参加]とハリウッドの俳優でシンガーの John C.Reilly{S.Begley とは良き唄と S.Begley の出身地のケリー愛を通じた友人で、二人のデュエット一曲}の二人。Teada の過去のアルバムすべてがピカーだったが、本作はそのピカーのまたその上のピカー。フィドル、ボタン・アコーディオン、フルート、ギター、ブズーキ、バウロン、キーボードによるアイリッシュは音楽が多彩でスローテンポからミディアムテンポそしてアップテンポまで縦横無尽。その職人芸は驚くばかり。さらに生前最後の録音記録と思われる Séamus Begley の柔和なゲーリック・シンギングが涙を誘う。最高のアイリッシュ！Gael Linn)
※Séamus Begley の訃報を知ったのは 1 月 10 日。享年 73 歳。ご冥福をお祈りします。



(Lark On The Stand) (Michael Sheehy)

*THE LARK ON THE STRAND:The Lark On The Strand C
(本作は 2000 年一月に Sesoaimhín Ní Bheaglaíoch{Macalla 懐かしい!/ヴォーカル},Charlie Piggott{De Danann/アコ},Peter Browne {1691 懐かしい！,Bothy Band [Paddy Keenan の代役] /イリアンパイプス},Gerry Harrington{フィドル}が"The Lark On The Strand" {グループ名は Chieftains の一枚目収録曲名}の名でアイルランド・ツアーをしたときのライヴ・アルバム。元となる音源は 2020 年のロックダウン期間中に屋根裏部屋の段ボール箱で偶然に発見したという。言わずと知れたアイリッシュ・ミュージック界のプロフェッショナル三人によるアイリッシュは、様々なタイプのダンス曲をあの手この手の名演奏で舌鼓を打たせる。加えて Sesoaimhín の滋味豊かなゲール語のシンギング付。ライナーには楽しかったツアーの思い出話や発見物を聴いたときの思いが綴られているが、こんなライヴを生で聴けたファンが極楽気分だったことだけは間違いない。全 34 曲！2022 作。LOTS001CD)
*MICHAEL SHEEHY:The Cat's Rambles C
(副題"Music From The Sliabh Luachra Tradition"。猫おっさんのジャケットと副題に惹かれ新譜{新譜情報リストに載っていた}と思って仕入れたら 2016 年作。Michael Sheehy の父親は独自の音楽が育まれてきたシュリーブ・ルークラの西リムリックの出身で家族は 1950 年代にマンチェスターに移住。Michael は父から学んだシュリーブ・ルークラの伝統に根ざした音楽をピアノ・アコーディオンで演奏する。これほど踊り躍るアコ演奏は聴いたことがないと思うほど、滅茶苦茶楽しい。父親{故人}の演奏を聴いたときの息子 Michael の目の輝きとにこやかな笑顔が目に浮

かぶMichaelのメッチャ楽しい演奏だ。演奏曲は父親伝授の曲に加えて、著名演奏家によるシュリーブ･ルークラの伝統音楽の音盤から学んだ曲や西リムリックの祖母が好きだった子守唄等など。全17トラック{全39曲}。アイルランドの生きた文化遺産。Veteran)

*LILLEBJORG NILSEN ・ ANDY IRVINE:Live In Telemark　A

(本作は1994年にノルウェーのフォーク･フェスでのAndy Irvineとノルウェーの SSWのLillebjorn Nilsenの共演ライヴ。全15トラックの内Andyがリード･ヴォーカルの曲は５トラック{メドレーを分割すれば８曲}で９トラック目までは交互の曲順。Andyのブズーキの伴奏＋ギターの弾き語りでうたうノルウェー語のLillebjornの唄は温厚なトラッド＆フォーク。2020年作。Heilo)

*RUNA:Live　A

(米国人アイルランド人混成のアイリッシュ系バンド､Runaの2016年リリースのライヴ・アルバムで五枚目。メムバーはShannon Lambert-Ryan{ｳﾞｫｰｶﾙ､ﾊﾞｳﾛﾝ},Fionan de Barra{ｷﾞﾀｰ､ｳﾞｫｰｶﾙ､ﾍﾞｰｽ他},Cheryl Prashker{ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ},Dave Curley{ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ､ｳﾞｫｰｶﾙ､ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ},Maggie Estes White{ﾌｨﾄﾞﾙ､ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ}の女性二名と男性三名の五人編成。2013年にIrish Music Awardsでトップ･グループ賞とトップ･トラディショナル･グループ賞を受賞。Shannon Lambert-Ryanの最高のシンギング共々彼らのアイリッシュは飛びっ切り。Runa Music)

*COLM O'DONNELL:Heart Strings　¥330

(売り尽くしセール！"Farewell To Evening Dances"という名盤のあとにリリースされたColmの二枚目。"As I Roved Out"等のトラッドの名曲やVan Morrisonの"Irish Heartbeat"やHank Wiliamsの"The Singing Waterfall"等を穏やかなフォーク調でうたう。伴奏はGarry O'Briain{プロデューサーでもある},Nollaig Casey,Eddie Lee,Noel Bridgeman,Mellisa Elliotte。発売年不明。Sound)

[CD/ＩＣＥＬＡＮＤ]

*OLOF ARNALDS:Innundir Skinni　¥1000

(不思議な魅力のアイスランドの女性シンガーのOlof Arnoldsのセカンド･アルバム。細い声で､気まぐれそうな独特の唄は､Vashti BunyanやTony Kosinecとイメージが重なる。"Surrender"という唄ではゲストのBjork呪術的ムードを吹き込む。極北的神秘性を極めてもいる。唄はアイスランド語と英語。2010作。One Little Indian)

[CD/ＬＡＰＬＡＮＤ]

*MARI BOINE:Eight Seasons　A

(ラップランド出身の超有名ヨイクのシンガーのMari Boineの2001年作。HedningarnaやGarmarnaのような最先端の北欧トラッド･サウンドの呪術性とMari Boineの根源志向とが相乗効果を上げた北欧トラッドの傑作。Universal Music S.A.)

[CD/SWEDEN]

(U.Boden & S.Sanden)　　(Ljus Och Lykta)

*ULRIKA BODEN & SOFIA SANDEN:Sångsystrar　　¥2685

(共にRanarimのヴォーカルでスウェーデンを代表するトラッドの歌姫のUlrika BodenとSofia Sandenのヴォーカル･デュエット･アルバム。二人はアルバム･タイトルの「うたう姉妹」よろしく最良のソロで、また最良のデュエットで人生と闇、喜びと悲しみなどの思いが込められたスウェーデンの民謡をうたう。特に阿吽の息のデュエットでの緊張感と躍動感とそして野性味のある美しさは素晴らしく、スウェーデン民謡の世界を最大限に魅力化している。ゲスト伴奏者はコントラバス＆アコースティック･ベースのPatrik Grundströmのみだが、UlrikaとSofiaが奏でるダルシマー、オートハープ、ヴィオラ・ダモーレ等を含む伴奏は、控えめながら独創的なトラッド･サウンドを奏でかつ、二人のシンギングと一体化していてお見事。全てが職人技。2022作Dalakollektivet)

*LJUS OCH LYKTA:Ljus Och lykta　　¥2685

(三姫一太郎の四人組トラッド･バンド"Ljus Och lykta"{光とランタンの意}の爽快デビュー･アルバム。四人全員がヴォーカルを務め、リード･シンガー格の一人のKlara EkmanはLena Willemarkのコンサートを観たのがきっかけでスウェーデンのトラッドに傾倒したという。曲目のほとんどはスウェーデン舞台芸術庁のアーカイブのコレクションで見つけ出したトラッド曲だそうだが、彼らは若々しく自由闊達なソロ･シンギング＆ポリフォニックなハーモニーで数々の伝統歌を生き返らす。まるで伝統歌を自分達で料理することを楽しんでいるかのよう。伴奏楽器がVega NordkvistのフィドルとAnton Larssonのギターのみというのが功を奏していて、特にフィドルのスウェーデンのトラッドの香り立つ演奏が良い感じでトラッド色を高めている。聴いていて気分が清々しい。すこぶるフレッシュな北欧トラッド。2022年。Caprice)

*HOVEN DROVEN:Trad　　A

(Tradと題されたHoven Drovenの新作は、1989年結成以来、30年以上にわたってスウェーデン･スタイルのフォーク･ロックを果敢に創作してきた彼らが初心の帰りつつ、腕を上げた演奏力と表現力で取り組んだ30周年記念アルバム的性格の力作。収録は2020年。力作とは言え、肩肘は張らず、全ての演奏はつぼを得たスウェーデン･スタイルのフォーク･ロックで、全ての音楽はスウェーデンの伝統音楽や伝統音楽にインスピレーションを得たもので、そうした音楽を創作する喜びと誇りが感じられる演奏になっている。2021作。Heilo)

*DOGGERLAND:No Sadness Of Farewell ¥1000
(英国人 Richard Burgess{ヴォーカル、コンサーティーナ、ギター他)とスウェーデン人北欧トラッドの名演奏家 Anders Ådin{ギター、ハーディーガーディ}の二人組"Doggerland"の 2017 年作。英国フォーク＆トラッド的感性なのだが、北欧の自然環境や生活やトラッドの影響だろう。感性が清々しくって、夢想的というか、Richard のシンギングもイングランド、北欧トラッド混在のアコースティック･サウンドも、その究極の美しさに息をのむ。w.Kevin Henderson,Mats Eden。Westpark)
*TRITULEN:Tritulen ¥1000
(Tritulen は Ebba Jacobsson をヴォーカルに据えた女性２名と男性１名のトラッド･グループ。曲はノルウェーの西海岸の伝統曲を中心にした選曲で、Ebba のシンギングもフィドル、ギター、アコの演奏も極北トラッドの薫りを発するが、ストイックな極北性ではなく、穏やかでほんのりと牧歌的な極北性。気分爽やか。2012 作。Etnisk Musikklubb)
*NARA:Om ¥1000
(Nara は元 Gunnfjauns Kapell でゴトランド出身の女性トラッド･シンガーの Gunnel Mauritzson とストックホルム出身でヴェテラン･フィドル奏者の Bjorn Stabi とヴェテラン･アコ奏者の Bengan Janson のトリオ。彼らはゴトランドのトラッドほかスウェーデン各地の伝承歌をスウェーデンのトラッドの芳香薫るシンギングと音楽で魅了する。絶品。2006 作。Caprice)

［CD/ＮＯＲＷＡＹ］

*ANON EGELAND & PER MIDTSTIGEN:I Heitaste Slatten ¥1500
(ノルウェー南部のブスケルー県の Numedal 地方とノルウェー南部のアグデル県の東部の村の伝統音楽集。本作が作られるまではこの地域の音楽は未知の地域だったという。その未知の地域の伝統音楽を二人の若者が掘り起こし、フィドル、ハルデイングフェーレ、アコーディオン、縦笛等で今日のノルウェーのトラッド演奏のスタイルで甦らせた革新的アルバム。ゲスト:Tellef Kvifte{縦笛、ピアノ}。全 20 トラック{全 39 曲}。Heilo)
*JENNY LYSANDER:Northern Folk ¥1500
(理想的なブリティッシュ･フォーク･スタイルの女性 SSW アルバム。美しい自然環境にある田舎のスタジオで収録された本作は、繊細極まりないアコースティック･ギターの伴奏と共に空想ロマンの世界へと誘われる。歌詞は英語。2015 作。Beating Drum)
*EPLEMOYA SONGLAG:Eplemoya Songlag ¥1500
(女性北欧トラッド･シンギングの毅然とした美しきを保持しつつ新鮮な感覚が脈打つ女性ヴォーカル･トリオの 2010 年作。リード･ヴォーカルの Liv Uivik のシンギングを Wenche Losnegard と Anja Eline Skybakmoen の二人がリズム楽器や伴奏楽器や喉唄などでバックアップし、北欧ならではの素晴らしきヴォーカル･ミュージックの世界を生み出している。NORCD)
*SIGRID MOLDESTAD:Sandkorn ¥1500
(ノルウェーを代表する女性フォーク･シンガーの Sigrid の本作はスコットランドの Robert Burns 作の名曲 3 曲と伝統歌 2 曲と残りは Sigrid の自作曲という曲目で、自身が奏でるハルディングフェーレ等がノルウェーのトラッドの薫りを撒き散らす中、Sigrid の

軽やかな節回しの唄は詩情豊かで美しい。2010 作。Heilo)

[CD/ＬＩＴＨＵＡＮＩＡ]

(Agota)　　(Sen Svaja)

*AGOTA:Kur Giria Užėjo　　C

(女性ヴォーカル･グループ"Sen Svaja"の Agota Zdanavičiūtėの初ソロ･アルバム。本作は Agota が薬剤師、民族誌学者、薬草学者そして魔術師として有名な Eugenija Šimkūnaitė{1920-1996}のおとぎ話にインスパイヤーされて創作したもの。リトアニアの民族楽器の Kanklės{カンクレス。カンテレと同類の撥弦楽器}を爪弾きながらうたう Agota は、まるで森の精か森の妖精。その唄は子守唄のようでもあり、不思議な呪文の唄のようでもるが、その上に小鳥のさえずりや水の音も聞こえて、まるで森の中で何か不思議な夢でも見てるかのような気分になる摩訶不思議なフォーク･アルバム。そのおとぎ話的不思議さは Donovan の"HMS"クラス。2022 作。Dangus)

*SEN SVAJA:Eisim sesės　　C

(女性ヴォーカル･トリオの Sen　Svaja{Agota Zdanavičiūtė, Dorota Girskienė, Živilė Rimšaitė}の新作で三枚目。民謡と民話に Vladas Braziūnas という詩人の詩を組み合わせたという本作。彼女達の合唱は個々の唄に聖と俗が同居し、独創的で民俗性が高く極めて緻密。フォーク＆トラッド系ヴォーカル･ミュージックとして異色な上に、極めてレベルが高い。女性シンガー三人で伝統的かつ新感覚のヴォーカル･ミュージックを果敢に創作していて圧巻。2022 作。Dangus)

*UNDAN:Vidury Mareliu　　C

(リトアニアの一姫二太郎の三人組トラッド･グループの Udan の 2018 作のデビュー･アルバム。アフリカの民族楽器の親指ピアノ"ムビラ"の演奏家でシンガーの Judita Butkevičiūtėの聖と俗とを持ち合わせたシンギングの何と魅惑的なこと！夢幻感や悠久感があって、ユーロ･トラッドとして個性的で音楽の深みが深い。リトアニアの古謡の世界にタイムスリップ。Dangus)

[CD/ＬＡＴＶＩＡ]

*NAMEJS KALNIŅŠ:Laika gaitā　　B

(ラトヴィアのカンテレ系民族楽器の Kokle{クークル}の演奏家の Namejs Kalniņšのソロ。彼の水面に映る木漏れ日のキラキラ感までをも表現したかのような演奏は細やかで、まるで日の光や森の妖精が舞い踊っているかのように感じられる音楽。2018 作。Lauska)

*RAHU THE FOOL:Rahu The Fool　　B

(豪華 CD ブック形ケース仕様の二枚組。二姫三太郎の五人組の Rahu The Fool の音楽はユニーク。ウォッシュボード、ダブルベース、ギ

ター、フィドル、フルートから奏でられる音楽は、米国のジャグバンドや古臭いブルースやジャズやカントリーと東欧風{ラトヴィア風？}のフォークとが混ざり合った異種交配サウンドで、ヴォーカルはウクライナの Uklainians やロシア民謡のような感じもある。2019 作。Rahu The Fool)

*SYMBOLIC:Muzam Saule Debesis B

(五太郎から成るラトヴィアのフォーク･ロック･バンド"Symbolic"のデビュー･アルバム。デビュー･アルバムだが、結成は 2000 年の大ヴェテラン。民族楽器とロック楽器の混成だが、ドラムス、ベース、エレキギターが全面に出ていて、リード･ヴォーカルの Uldis Kakulis のラトヴィア魂を鼓舞する堂々たるシンギングと相まっヴォルテージの高いフォーク･ロックを創作している。2017 作。Lauska)

[CD/ＤＥＮＭＡＲＫ]

*HAUGAARD & HOIRUP:Let's Dansk! ¥1500

(Haugaard & Hoirup の 2001 年ドイツでのライヴ。フィドルとギターのコラボでデンマークのトラッドの名演奏。デンマークのフォーク･ミュージック復興の中心的二人。英語曲目解説付。2001 作。Stockfisch)

*HARALD HAUGAARD･ANDERS MOGENSEN:Spirits ¥1500

(H.Haugaard の本作はジャズ･ドラマーの Anders Mogensen とのコラボ。デンマークのフォーク･ミュージックをジャズ仕立てで取り組んだ意欲作。2004 作。Go')

*SERRAS:Secondhand ¥1500

(H.Haugaard を含む五人組フォーク･ロック･バンド"Serras"の 2001 年作。音楽の素材は 17 世紀に著された音楽書。数世紀前の音楽を横綱級フォーク･ロック＋α で体現。2002 年デンマーク音楽賞{フォーク部門}受賞。マルチメディア機能付の CD-ROM にはコンサート･ビデオ収録。Go')

*AFENGINN:Akrobakkus ¥1000

(バルカン音楽っぽいのやクレズマーっぽいのやジプシー音楽っぽいのやウクライナ音楽っぽいのを煮込んで栄養満点のご馳走音楽を創作。2005 年"Danish World"賞優勝。2006 作。Tutl)

[CD/BELGIUM,FLANDERS]

*FARAN FLAD:Maiden Voyage ¥1000

(Kadril の"The Other Shore"でヴォーカルを担当した英国人女性シンガーの Heather Grabham がリード･ヴォーカルの英国人、フランダース人混成のアイリッシュ系トラッド･バンド。70 年代ブリティッシュ･フォーク･シンガー･タイプの Heather の美味ヴォーカルをフィーチャーしたアイリッシュはアイリッシュ風ブリティッシュ･フォークでほんわかと魅力的。唄もサウンドもフレッシュで美味。2010 作。Wild Boar Music)

[CD/ＰＯＲＴＵＧＡＬ]

*SEIVA:SEIVA ¥1500

(ポルトガルのフォーク･シーンで最も影響力のある Joana Negrao {ヴォーカル、ガイタ、パーカッション}の二人がパーカッション奏者の Rita Novoa を加えて結成した Seiva の 2015 年のデビュー作。数々の口

承伝承の曲{主にポルトガル東部}の音楽的ルーツを探求して生まれた音楽は、大地の音を響かせ、Joanna のヴォーカルは民俗色を強めてパワフル。驚きのグループだ。2015 作。Galileo)

[CD/ＡＳＴＵＲＩＡＳ]

*HEVIA:Tierra De Nadie/No Man's Land ¥1000
(アストゥーリアスのバグパイプ奏者の Hevia の 2000 年作。音楽は自身の音楽のルーツを基盤にしたもので、ロックっぽい斬新な音作りや土俗的な女性ヴォーカルの挿入等、独自色を発散している。素晴らしきケルティック･バグパイプ奏者だ。EMI-Odeon)

[CD/ＧＡＬＩＣＩＡ]

*CHOUTEIRA:Folla De Lata ¥1800
(ガリシアを代表するトラッド･シンガーの Uxia Pedreira がリード･ヴォーカルの Shouteira の 2000 年作の三枚目。ガイタ二台、トランペット、チューバ、アコ、各種パーカッションなどによる斬新かつ柔軟かつパワフルなガリシアン･トラッド。歌姫 Uxia のシンギングもノリに乗って最高潮。ガリシアン･トラッド･アルバムの最高傑作。金属ネジのオマケ付き。Do Fol)
※久し振りに聴いて大感動。彼らが達成した音楽的成果は受け継がれたのだろうか。

*MILLADOIRO:3 ¥1800
(古楽のアーカーブに情熱的だった音楽仲間によって結成された Milladoiro の 1982 年作の三枚目。ガイタ、アコ、ハープ、ハーディガーディ、ホイッスル、フルート、オカリナ、ギターなどによるガリシアのトラッドを中心にした音楽はいわばガリシア音楽に根ざした Chieftains タイプのケルティック･トラッド。そのガリシア色豊かな音楽が新鮮だった。彼らを抜きにしてガリシアの音楽は語れない。CBS)

*XOSE MANUEL BUNDINO:Arredor ¥1000
(ガリシアのバグパイプ"ガイタ"奏者の Xose Manuel Bundino の 2000 年作。Xose はガイタのほかイリアンパイプスやロー･ホイッスルも演奏し、Donald Shaw,Tony McManus,Jackey Moland ほかケルティック･ミュージックの精鋭達と当時最前線の汎ケルティック･ミュージックを創作。Mercedes Peon がゲスト･ヴォーカルの"Se Souberas"など特に聴き物。ガリシアの Davy Spillane?! スペイン Virgin)

[CD/ＲＵＳＳＩＡ]

*INNA ZHELANNAYA:Izvorot ¥1500
(二枚組。本作で Inna と彼女のバンドは、ロシア各地の民謡をラディカルにロック化。彼女独特な混沌として暗鬱なロシアン･トラッドは、スウェーデンの革新的トラッドと通じ合う土俗性を保持。2014 作。Inna Zhelannaya)

*TAM LETAL PAVLIN:A Peacock Once Went Flying ¥1000
(ウクライナのハルキウから約 70 km北北東に位置するベルゴロド地域とドネツ川の支流のオスコル川地域の女性合唱を中心にした民族音楽アルバム。1967 年から 1969 年と 1982 年から 1987 年に行われたコンサートから全 28 曲。暦の歌、儀式の歌、日常や結婚の歌、余興の歌等民俗性豊かなシンギングと合唱に驚かされる。

英語解説付。1991 作。Pan)

[CD/ＨＵＮＧＡＲＹ]

*ORFEO:Zeneszcsoport ¥1500
(ハンガリーを代表する革新的フォークロック･バンド"Kolinda"結成前の前身バンドが当時のレパートリーを新録{当時の音源を含む}したアルバム。全 22 曲。P62 のブックレット付。2011 作。KOKE-001)

*EKTAR:Kontrapunkt ¥1000
(Evelin Toth がヴォーカルの七人組バンドの Ektar の 2010 年作。本作は音楽は Makam の音楽エッセンスを抽出したこのようなエキゾティックでスピリチュアルな音楽。サーランギ、カリンンバ、ギター、ダブルベース、サックス、ドラムス等による音楽はアラブ音楽とジャズとが混ざり合った前衛的エキゾティック音楽。Evelin Toth のヴォーカルは超人的。不気味な映画音楽を聴く感覚。2010 作。Folk Europa)

*KORPAS EVA:Szerelem,Szerelem ¥1000
(英題"Love,Love"。ハンガリーを代表するトラッド･シンガーの Korpas Eva の 2010 年作。「恋に落ちたり、滅入ったときにはいつも民謡に身を預けた。民謡は私を元気にしてくれる」という Eva の本作は、ジャズっぽい衣装を身にまとった新感覚のハンガリー･トラッド。Eva のエキゾティックな麗しさは不思議な安らぎ感がある。Muzsikas 系でも Makam 系でもな新感覚のハンガリアン･トラッド。全 18 曲。2010 作。FolkEuropa)

[CD/ＳＥＲＢＩＡ]

(Polgar Lilla)

*POLGAR LILLA:Szeretet Probaja A
(以前ハンガリーで紹介していた女性トラッド･シンガーの Polgar Lilla はセルビアのシンガーで民俗音楽部門で数々賞の受賞者であることがネット検索でわかった。彼女はヴォイヴォディナ自治州の民謡を得意としているそうだ。ハンガリーの Gajdos Együttes をバックにした Polgar Lilla のシンギングはハンガリアン･トラッドと見まごうもので、滅茶苦茶素晴らしい。Marta Sebestyen with Muzsikas を超えるかも。2002 作。Etnofon)

[CD/KLEZMER,GYPSY,BALKAN 他]

*DEN FLYGANDE BOKRULLEN:Shuff! ¥1000
(スウェーデンの６人編成のクレズマー･バンドの枚目。彼等の音楽はホーンが３台とサックス＆クラリネット{同じ奏者}が１台の計４台の吹奏楽器が炸裂するまるでバルカン･ビート･バンドのような祝祭的クレズマー。ハッピー！ハッピー！なクレズマ

一音楽。2007 作。Arko)

☆　☆　☆　☆　☆　☆

その他色々(CD-R は音質検査済み)

☆　☆　☆　☆　☆　☆

［ＣＤ］

(CD/USA)

*GUTHRIE THOMAS:Django　A
(CD-R。2011 作。Moon And Back)
*AD VANDERVEEN:Final Refuge(2019 作。Continental)　A
*LEFTOVER SALMON:Brand New Good Old Days　A
(2021 作。Compass)
*ELLIS PAUL:Live(二枚組。2000 作。Philo)　¥1800
*MARIA MULDAUR:Meet Me At Midnite　¥1500
(1994 作。Black Top)
*KATE CAMPBELL:Monument(2002 作。Large River Music)　¥1500
*GEORGE ENSLE:Build A Bridge(2008 作。Berkalin)　¥1500
*THE NIELDS:Play(1998 作。Zoe)
*JOYCE ANDERSEN:Love & Thirst　¥1500
(w.Dave Mattacks,Duke Levine,Harvey Reid。"A genius album!"
と Eric Andersen 絶賛。2005 作。Joyscream Music)
*TONY JOE WHITE:One Hot July(1998 作。Hip-O)　¥1500
*ROD MACDONALD:The Man On The Ledge　¥1500
(1994 作。Shanachie)
*TRISHA YEARWOOD:Everybody Knows(1996 作。MCA)　¥1000
*KASEY ANDERSON AND THE HONKIES:Heart Of A Dog　¥1000
(2011 作。Red River)
*DUDLEY SANDERS:The Billy White Acre Sessions＋　¥550
(1998 作。Fang)
*SYLVIA HEROLD & EUPHONIA:Lovely Nancy　¥550

(中古 CD/USA)

*ERIC ANDERSEN:Blue Moon　¥1500
(新品同様。2007 作。Grappa)
*GEOFF MULDAUR:Password(2000 作。Hightone)　¥1500
(新品同様。2007 作。Grappa)
*PASTURES OF PLENTY
"An Austin Celebration Of Woody Guthrie　¥1000
(ほぼ新品。Steve Young,Ray Wylie Hubbard,Butch Hancock,
Jimmy LaFave 他による 1993 年のライヴ。全 17 曲。1993 作。Dejadisc)
*BILL CHAMBERS:Sleeping With The Blues　¥1000
(新品同様。2003 作。Reckless)
*CHARLIE KING AND KAREN BRANDOW:I Struck Gold　¥550
(新品同様。2001 作。Appleseed)
*BLAZE FOLEY:In Tribute And Loving Memory...
Volume One　¥330
(ほぼ新品。ホッチキスがサビている。1998 作。Deep South)

(サンプル CD/USA)

*FRANK SOLIVAN & DIRTY KITCHEN:Cold Spell　¥100

(カードウォレット仕様。"2014 作。Compass)
*ANDREA ZONN:Rise ¥100
(カードウォレット仕様。"2015 作。Compass)
*BOBBY LONG:Ode To Thinking ¥100
(カードウォレット仕様。"2015 作。Compass)
*ALISON BROWN:The Song Of Banjo ¥100
(カードウォレット仕様。"2015 作。Compass)
*THE HILLBENDERS:Tommy A Bluegrass Opry ¥100
(カードウォレット仕様。"2015 作。Compass)
*ROB ICKES･TREY HENSLEY:The Country Blues ¥100
(カードウォレット仕様。"2016 作。Compass)
*HOUSE ON FIRE "An Urban Folk Collection ¥100
(カードウォレット仕様。"Red House Records 10th Anniversary"。
Greg Brown,Bill Staines,Ramblin' Jack Elliott,Paul
Geremia 他全 17 曲。1993 作。Red House)
*ROUGH ISLAND BAND:Where To? ¥100
(カードウォレット仕様。"2010 作。Rough Island Band)
*THE INDEPENDANT ACOUSTIC GROUP ¥100
(カードウォレット。Signature Sounds,Eastern Front,
Tangible Music,ISG の４レベールのサンプル盤。全 19 曲。IAG)
*REBECCA FRAZIER:When We Fall ¥100
(カードウォレット仕様。2013 作。Compass)
*REBECCA FRAZIER:When We Fall ¥100
(カードウォレット仕様。2013 作。Compass)
*MISSY RAINES AND THE NEW HIP:New Frontier ¥100
(カードウォレット仕様。2013 作。Compass)
*MIKE HARRIS:Shine ¥100
(カードウォレット仕様。2014 作。Compass)
*MICHAEL CLEVELAND AND FLAMEKEEPER:On Down The Line ¥100
(カードウォレット仕様。2014 作。Compass)
*SPECIAL CONSENSUS:Long I Ride ¥100
(カードウォレット仕様。2016 作。Compass)
*INDEPENDANT ARTISTS SAMPLER '99 ¥100
(カードウォレット仕様。Andrew Calhourn,Michael Jerling,Sloan
Wainwright,Geoff Burtley,Kate MacLeod 他。全 19 曲。Waterbug)

(CD/USA{Trad,Celtic})
*LAURA MACKENZIE:Evidence ¥550
(副題"Songs,Airs And Waltzes"。2003 作。New Folk)

(サンプル CD/Canada)
*ROGER DEAN YOUNG & THE TIN CUP:Thereshold ¥550
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2007 作。
CPS 727)
*FESTIVAL TO GO "An All-Canadien Sampler" ¥100
(カードウォレット仕様。全 19 曲。制作年不明。Festival)

(CD/Canada{Cape Breton})
*NATALIE MACMASTER:Fit As A Fiddle A
(1993 作。Warner Music Canada)

（サンプル CD/UK）

*ANGE HARDY:When Christmas Day Is Near ¥330
（カードウォレット仕様。三曲収録。2015 作。Story）

*HEIDI BERRY:Miracle ¥330
（カードウォレット仕様。三曲収録。1996 作。4AD）

（CD-ROM/England）

*MARTIN CARTHY
:The Companion CD-ROM To The Carthy Chronicles B
（カードウォレット仕様。2001 年に発売された四枚組ボックスセット"The Carthy Chronicles"付属 CD-ROM。確か購入者がはがきを出して入手できたと記憶。Paul Simon のお祝いメッセージに始まって、Gabriel Yacoub や Roy Bailey がゲストでうたって、Martin Carthy の唄もたっぷり聴けて、最後は Tom Robinson の音頭で"Happy Birthday の合唱で終わる 60 歳の誕生日記念コンサートのオーディオ･クリップの 13 トラックに 1967 年にデンマークの TV に出演したときの Martin Carthy & Dave Swarbrick のライヴや 1970 年ミュージックルームでの Steeleye Span の生演奏や 1988 年野外フェスでの Brass Monkey のライヴなどのビデオ･クリップほか聴き物、見物盛りだくさん。2001 作。Free Reed/３枚在庫）

（CD/Ireland 他）

*DE DANNAN:Welcome To The HotelConnemara B
(2000 作。Hummingbird)

*CLANNAD:Magical Ring-Deluxe Edition A
（1983 年/2003 作。BMG）

*CLANNAD:In A Lifetime-Limited Edition Double CD A
（2003 作。BMG）

*RITA ERIKSEN & DOLORES KEANE:Tideland A
（1996 作。FXCD175）

*MAURA O'CONNELL:Blue Is The Color Of Hope A
（Produced by Jerry Douglas。1992 作。Warner Bros.）

*MARY MacNAMARA:Traditional Music From East Clare A
（1994 作。Claddagh）

*MARY MacNAMARA･ANDREW MacNAMADA:Open Hearth A
（2004 作。MAC01）

*BOYS OF THE LOUGH:Lonesome Blues And Dancing Shoes A
（2002 作。Lough）

*SEAN O SE:Irish Heritage A
（with Davy Spillane,Nollaig Casey,Donal Lunny 他。1998 作。Outlet）

*SEAN TYRRELL･KEVIN GLACKIN･RONAN BROWNE
:And So The Story Goes...(2001 作。CICD185) A

*THE KILFENORA CEILI BAND:Live In Lisdoonvarna A
（2002 作。Dolphin）

*MARY McPARTLAND:Petticoat Loose A
（2008 作。MCPRCD002）

*CETIC MUSIC "Live From Mountain Stage" A

(Andy Irvine,Altan,Luka Bloom,Four Men & A Dog,Eleanor McEvoy,Black 47のアイルランド勢に加えてEmma Christian, Dougie Maclean,Tannahill Weavers,Battlefield Band,Oyster Band。1997作。Blue Plate Music)

*DANU:All Things Considered(2002作。Shanachie) ¥1500

*THE LAHAWNS:Live At Winkles(1997作。Lahawns Music) ¥1500

*NIAMH DE BURKA:An Ait A Bhfuil Do Cgoroi... ¥1500
(2005作。Gael-linn)

*IRISH TRADITIONAL MUSIC ¥1500
(70年代にTopic Recordsから発売された三枚のアイルランド音楽のアルバムからの編集CD。全25トラック。2000作。Temple)

*LAUREL MARTIN:The Groves ¥1500
("Traditional Irish Music"。2006作。LKM7876)

*DONNA LONG:Handprints(2003作。Long Lost Music) ¥1000

*PHIL CALLERY:Landscape Of The Past ¥1000
(2012作。Rosa)

*THE O'BRIEN FAMILY:The Top Of The World ¥1000

*JACK AND JIMMY COEN:Traditional Irish Music On Flute And Guitar(2001作。COEN01) ¥1000

*MARGARET BARRY:Ireland's Own(1976作。Outlet) ¥1000

*CHRISTY MOORE:Lily(2016作。Sony Music) ¥1000

*SHARON SHANNON:Spelbound ¥1000
(The Best Of Shannon Shannon。全21曲。1998作。Grapevine)

*SKIRM & DEZI DONNELLY:Welcome Live In Hamburg ¥1000
(1995作。Magnetic Music)

*FEMMES CELTES(CELTIC WOMEN) ¥1000
(Karan Casey,Sharon Shannon,Mark Black,Maighread & Triona Ni Dhomhnaill,Dolores Keane,Lasairfhiona Ni Chonaola, Capercaillie,Eddi Reader,Julie Murphy & Fernhill,Loreena McKennitt,Emmylou Harris他。2003作。Keltia Musique)

*CHRISTY SHERIDAN:Silver Notes ¥1000
("Haunting Irish Airs On Mandolin And Banjo"。Mill Studio Production)

*COLM GANNON:Return To Droim(2005作。TGG001) ¥1000

*GAY CONOR & SEAN McKEON:The Dusty Miller ¥1000
(2005作。CDGMCK002)

*BLACKTHORN BAND:The River That Runs Below ¥1000
(2008作。Hobgoblin)

*SINEAD O'CONNOR:Sean-nos Nua(2002作。Hummingbird) ¥1000

*THE IRISH DESCENDANTS:Livin' On The Edge ¥1000
(1996作。WEA)

*TOMMY SANDS:The Heart's A Wonder ¥1000
(1995作。Green Linnet)

*CHRISTIE HENNESSY:A Year In Life ¥1000
(1993作。WEA)

*BOHINTA:Sessions(199作。Aarde) ¥550

*TOM ACTON:Dark River Tumbling(2004作。FSCD001) ¥330

(CD/Ireland{Lesson})

*STEAFAN HANNIGAN:The Bodhran Book Demo CD ¥100

(バウロンの教則本付属の CD。2000 作。Ossian)

(CD/Finland)

*MARIANNE MAANS･MARIA KALANIEMI･OLLI VARIS
:I Ramunders Fotpar(2000 作。FMICD-16) ¥1500

*PELIOS:Gourmet!(2012 作。Suvi Sounds) ¥550

(CD/Sweden)

*MATS EDEN:Pastern(2013 作。Gammalthea) ¥1500

*NACKLATER:Nacklater(Gammalthea) ¥1500

*BJORG OCH KATARINA BJORN"BITAR":Efter Lovstangubbarna
(ニッケルハルパ音楽。全 24 曲。2001 作。Tongang) ¥550

(CD/Norway)

*NORTH WIND:Storm In A Teacup ¥1500
(副題"Harp Music And Song From The Celtic Northwest"。
2003 作。Laika)

*THOMAS LOEFKE:Northland Wind ¥1000
(副題"Harp Music From The Celtic Northwest"。1994 作。
Atlantic-Celtic Heartbeat)

(中古 CD/Norway)

*SONDRE BRATLAND & ANNBJORG LIEN:Alle Vegne ¥1000
(ほぼ新品。おそらく劣化のためと思われるが、表ジャケットに光
に当てると妙な形が浮き上がる。1991 作。FXCD107)

(サンプル CD/Finland)

*ARCTIC PARADISE 2012 ¥1000
(副題"Contemporary Folk Music From Finland 2012"。ハードカ
バー CD ブック。90 ページの本はフィンランドのフォークの解説、
ミュージシャン紹介など。CD は Frigg,Maria Kalaniemi,Svang,
Pirpauke 等 16 曲収録。FIMIC)

*HARV:Polka Raggioso ¥550
(バーコードの丸い穴のあいたほぼ新品のサンプル盤。2005 作。
NorthSide)

(CD/Denmark,Faroe Islands)

*FAERD:Faerd ¥1800
(Manna Luders,Peter Uhrbrand,Eskil Romme,Karen Tweed,Ian
Carr の五人組。2002 作。Tutl)

*BAL TINGET:Special(1998 作。Balt.CD3) ¥550

(CD/Belgium,Flanders)

*PEUT-ETRE DEMAIN:Gelieve De Dieren Te Voederen ¥550
(2010 作。Wild Boar Music)

(中古 CD/Belgium,Flanders)

*AURELIA:La Creation Du Monde ¥1000
(新品同様。2012 作。Homerecords.be)

*SURPLUZ:Laat Ons Drinken! ¥100

(ディスクは新品同様。ジャケット劣化で薄らとプチプチ斑点。
2012 作。Wild Boar Music)

(CD/France)
*CLAIRE DITERZI:69 Battements Par Minute ¥550
(2015 作。APM1501)

(CD/Bretagne)
*SOIG SIBERIL:30 Ans De Scene... ¥1500
(二枚組。2012 ケルティック・ギタリスト。作。Coop Breizh)
*ALAN STIVELL:Legende(1983 作。Dreyfus) ¥1000
*ALAN STIVELL:Au-Dela Des Mots ¥1000
(英題"Beyond Words"。w.Ronan Le Bars{ｲﾘｱﾝ・ﾊﾟｲﾌﾟｽ},David
Hopkins{ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ}。2002 作。KeltiaⅢ)
*ALAN STIVELL:Emerald(2009 作。KeltiaⅢ) ¥1000
*TOURNEE 95 "War An Hent" ¥550
(Soig Siberill,Patrick Molard & Youenn Le Bihan,Annie
Ebrel,Jacky Molard,Alain Genty,Kristen Nogues 他の編集盤。
1995 作。Coop Breizh)
*OBREE ALIE:Alment D'if(2000 作。Coop Breizh) ¥550

(CD/Spain)
*HATO DE FOCES:Errekeerre 1977/2002 ¥1500
(2002 作。Sonifolk)

(CD/Astrias)
*ASTRIAS ¥1000
(二枚組。全 24 曲。Fonomusic)

(CD/Galicia)
*XOSE MANUEL BUNDINO:Zumede Terra(2004 作。Boa) ¥1000
*MILLADOIRO & THE ENGLISH CHAMBER ORCHESTRA
:Iacobus Magnus(1994 作。Discmedi) ¥1000

(CD/Mediterranean)
*CALIU:Punt I Seguit(2010 作。Blau) ¥1500

(CD/Italy)
*RICCARDO TESI･PATRICK VAILLANT:Veranda ¥1500
(1990 作。Auvidis)
*FRANCESCO BANCHINI:Baqshish(2007 作。Dunya) ¥1000
*OLIVIERO BIELLA:Accade "pol das" ¥550
(2004 作。FolkClub EthonoSuoni)

(CD/Poland)
*LAYE SOW:Djanano(2004 作。Orange World) ¥550
(1996 作。Gong)

(中古 CD/Carpathia)
*MUSIQUE DES CARPATES ORIENTALES ¥1000

(東欧のカラパティア山脈の伝統音楽。1991 作。Harmonia Mundi)

(CD/Klezmer,Jews,Gypsy)

*SUKKE:Introducing ¥1000
(副題"New Direction In Jewish Roots Music。2004 作。World Music Network)

*NOA:Classic Noa-The Israeli Songbook ¥1000
(2011 作。Pinorrekk)

*KLEZMER ALLIANCE:Mir Basaraber ¥550
(2007 作。Oriente Musik)

*TARAF:Romanian Gypsy Music ¥550
(1996 作。Music Of The World)

*GOJIM:Tscholent ¥550
(1994 作。Extraplatte)

(CD/Balkan)

*ORIENTEXPRESSEN:Balkanica ¥1000
(24 曲収録編集盤。1993 作。Resource)

(中古 CD/Mali&Canada)

*JAYME STONE & MANSA SISSOKO:Africa To Appalachia ¥550
(ほぼ新品。2008 作。JS-200)

(CD/Senegal)

*SECKOU KEITA SKQ:The Silimbo Passage ¥1000
(2008 作。World Adventure)

*MORIKEBA KOUYATE:Music Of Senegal ¥1000
(1997 作。Traditional Crossroads)

(CD/Madagascal)

*TARIKA:Soul Makassar(2002 作。Artemis) ¥1000

(CD/India)

*SADANAND NAIMPALLI & MOHAN BALVALLY
:Live At Trinity Club,Bombay 1967 ¥550
(2005 作。Country & Eastern)

*COWS IN LOVE "Vacas Felices,Happy Cows ¥550
(2003 作。BOA)

(中古 CD/沖縄)

*喜納昌吉 & チャンプルーズ:ニライカナイ Paradise ¥550
(ディスクは新品ですが、ブックレットを閉じるホッチキスがかなり腐食していて、ほとんど折れかかっています。ジャケットにもサビが染みついています。1990 作。東芝 EMI)

(CD/？)

*PANGEA(1996 作。Eastwest France) ¥1000

*KALENDA MAYA:Arms Of God(1993 作。President) ¥1000

*CAFE DE CHINITAS "Sonnenuntergang" ¥330
(副題「アメリカ文化の終焉から 500 年」。1992 作。Extraplatte)

*TURBO PRO PROJECT:Daydream ¥330
(2008 作。Oasis Disc)

(中古 CD/？)
*ISIDORE:Life Somewhere Else ¥330
(ほぼ新品。2011 作。Communications Vessels)

［ＬＰ］在庫各一枚。多少自然劣化で。欧州盤は元々封なし。
(LP/USA)
*BILL STAINES:Redbird's Wing B
(1988 作。Philo)
*HICKORY WIND:Crossing Devil's Bridge B
*JEFF WILKINSON:Pitchin' Pennies B
(1987 作。Blackbird)
*PRISCILLA HERDMAN:Darkness Into Light A
(1987 作。Philo)
*WASHINGTON PHILLIPS:Denomination Blues A
(副題"Hammered Dulcimer +-1875 Philadelphia"。1920 年代録音の SP 音源からの編集盤。Ry Cooder もカヴァー。1980 作。Agram)

(中古 LP/USA)
*LARRY WEISS:Black & Blue Suite A
(ほぼ新品。1974 作。20 Century)

(LP/CANADA)
*GRAND COULEE OLD TYME JUG BAND
:Those Were The Days ¥1000
(副題"20 OldTymeTunes"。1978 作。World)

(LP/BRITAIN,IRELAND)
*BRAM TAYLOR:Dreams And Songs To Sing C
(1986 作。Fellside)
*JOHN B.SPENCER:Out With A Bang A
(1986 作。Topic)

(LP/BASQUE)
*BENITO LERTXUNDI:Zuberoa - Askatasunaren Semeei D
(二枚組。ジャケットにはアルバム･タイトルなし。1977 作。Elkar)
*ITOIZ:Itoiz(1998 作。Elkar) A

(中古 LP/ARGENTINE)
*MERCEDES SOSA:Vengo A Ofrecer Mi Corazon A
(ほぼ新品。カット盤。1987 作。PolyGram)

(あとがき)
*今回女性シンガー豊作リストになりましたね。女性に視点を置いたものや歴史を振り返るものなど新たなテーマに挑む音楽あるいはさらなる高みに挑む音楽など興味深く聴き入りました。販売はしていませんが、地球環境問題をテーマにする女性シンガーも増えています。今フォーク、トラッドの分野は女

性シンガーが元気です。
*前回までカードウォレット仕様のＣＤを「簡易ジャケット仕様」と表現していましたが、今回より表現を改めました。
*「私、矢川俊介は。2023 年 4 月号（3 月 20 日発売）から『ミュージック・マガジン』編集長に就任いたします」と本人から知らせがありました。矢川君は学生時代に在籍していた音楽サークルの後輩です。（ニュー）ミュージック・マガジンは、上京した 1970 年から学生時代そしてブラックホーク時代のぼくの最愛読音楽雑誌でした。長く生きていると色んなことがあるものですね。『ミュージック。マガジン』4 月号が出たら本屋で買って読んで見ようかと思っています。買うの何十年振り？
湯布院はいつ以前のように外国人観光客で賑わうだろうと心配していたら、今年になってから連日コロナ前に戻ったかのように韓国人観光客（ほとんどカップル）で賑わっています。(^0^*)
*ではファックス、メール、郵便でのご注文をお待ちしています。

（船津）

本年も宜しくお願いします